

# Interim Business Report 2007

2007年5月期(第59期) 中間期(2006年6月1日~2006年11月30日)

**yamashita**  
TOTAL MEDICAL SUPPORT

山下医科器械株式会社

## トップメッセージ

## Top Message

皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

2007年5月期中間期(2006年6月1日から2006年11月30日まで)のビジネスレポートをお届けするにあたり、ご挨拶をかね、営業の概況等についてご報告申し上げます。当中間連結会計期間における医療業界は、2006年4月の診療報酬改定により医療費全体で3.16%の引下げとなったことを皮切りに、わが国の医療制度の抜本的な改革を目的として、2006年6月に医療制度改革関連法案が成立し、医療法および健康保険法が大幅に改正されました。これら医療行政の動向は、医療機関にとっては、その経営戦略の見直しを迫られる規模の影響を及ぼすものであり、コストダウンを主とした経営効率化への取り組みが本格化する一方、急性期医療施設の設備投資の活発化、在宅医療の中心的役割を担う診療所の新規開業件数の増加など、業界構造の変化が進んでおります。医療機器販売業界におきましては、医療制度改革が医療費抑制に直結するため、値下げ圧力がいっそう強まる一方、医療機器を購入する顧客層の変化や、コンサルティング的なサービスの要望など、新しいニーズへの対応が求められております。

このような状況の下、当社グループは、ISOマネジメントシステムを運用し、顧客対応能力と業務品質の向上に努めるとともに、新規開業支援、自社開発物品管理システム、プライベートブランド商品など、医業経営の効率化に寄与する商品・サービスの開拓に取り組み、同業他社との差別化をはかって、シェア拡大を進めてまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は161億35百万円と前年同期比10億8百万円(6.7%)の増加となりました。営業利益は、売上高の増加に伴い、3億4百万円と前年同期比51百万円(20.4%)の増加、経常利益は、3億39百万円と前年同期比68百万円(25.1%)の増加、中間純利益は、1億80百万円と前年同期比22百万円(13.9%)の増加となりました。

今後の医療業界においては、医療制度改革の影響がより顕在化し、医療機関、医療関連企業とも、より厳しい競争環境の下、経営の効率化を加速させていくものと考えられます。

このような状況の下、当社グループは、基盤である医療機器の仕入・販売事業の効率化を一段と進め、急性期医療分野や低侵襲治療分野の需要拡大に的確に対応して業績拡大をはかる一方、当期を医業経営コンサルティング事業の体制整備の年度として位置づけた中期経営計画を着実に実行し、メディカルサービス分野を中心とした新規ビジネスを軌道に乗せ、業界での存在価値を高めてまいります。中期経営計画につきましては、当中間期を機に、新規ビジネスの見通しを織り込むなど、見直しを行い、2007年1月15日に公表いたしました。

なお、通期の見通しにつきましては、売上高336億58百万円(前年同期比3.7%増)、経常利益7億15百万円(前年同期比3.1%減)、当期純利益4億9百万円(前年同期比10.5%増)を見込んでおります。この結果、当期末配当予想についても、1株あたり30円を50円に修正いたしました。

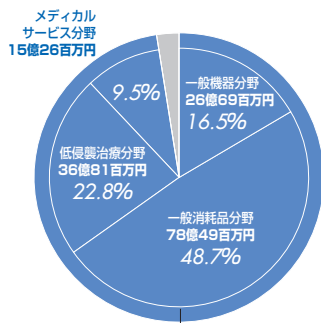
皆様におかれましては、今後ともご支援、ご指導のほど、よろしく願い申し上げます。

2007年2月



代表取締役社長  
山下 耕一

## 医療機器部門



売上高157億26百万円  
(前年同期比7.3%増)  
売上高構成比97.5%

### ●一般機器分野

一般機器分野では、全般的な需要低迷傾向が続き、売上高は26億69百万円(前年同期比3.3%減)となりました。



### ●一般消耗品分野

一般消耗品分野では、自社開発の物品管理システム導入や得意先拡大が順調に推移し、売上高は78億49百万円(前年同期比5.2%増)となりました。



### ●低侵襲治療分野

低侵襲治療分野では、IVE(消化器官治療用の内視鏡下処置具)分野の販売が伸び、売上高は36億81百万円(前年同期比7.6%増)となりました。

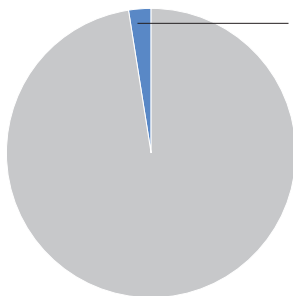


### ●メディカルサービス分野

メディカルサービス分野では、MRIなどの高額機器を伴った新規開業案件が増え、売上高は15億26百万円(前年同期比49.8%増)となりました。



## 医療情報部門



売上高4億8百万円(前年同期比12.0%減)  
売上高構成比2.5%

医療情報部門では、医療事務用コンピュータの更新需要が低迷し、売上高は4億8百万円(前年同期比12.0%減)となりました。



※当中間連結会計期間は、連結財務諸表の作成初年度であるため、上記に記載いたしました経営成績の前年同期比は参考として個別財務諸表との比較であります。

## 物流業務に関して佐川急便グループとの提携に合意いたしました。

# Topics



当社は、中期経営計画に基づき、物流業務の改善および新たな物流機能の構築に取り組んでおり、その一環として、2006年10月、医療機器の物流業務について佐川急便グループとの提携を行いました。提携内容は、現行の当社物流センターの隣接地に建設される倉庫を賃借し、配送・倉庫管理を佐川急便グループに委託することで、物流コストを低減し、顧客、同業企業への直接納品体制を構築するものです。

今後、当社は佐川急便グループとの提携プロジェクトにより、物流機能を拡充し、顧客サービスおよび営業効率の向上をはかってまいります。また、現行の当社物流センターでは、基本業務を上記のように委託することによって改装を施し、高機能医療材料の物流管理、メンテナンスセンターと連携した物品管理、在宅医療関連商品の販売拡大、医療機器仕入の効率化など、当社業績に寄与する付加価値機能の拡充に取り組んでまいります。

中間連結貸借対照表 (単位：千円、千円未満切り捨て)

科 目	当中間連結会計期間末 (06年11月30日現在)
<b>●資産の部</b>	
流動資産	8,825,238
固定資産	3,940,524
有形固定資産	3,152,715
無形固定資産	69,368
投資その他の資産	718,440
資産合計	12,765,762
<b>●負債の部</b>	
流動負債	7,131,943
固定負債	318,628
負債合計	7,450,571
<b>●純資産の部</b>	
株主資本	5,141,410
資本金	494,025
資本剰余金	627,605
利益剰余金	4,019,780
評価・換算差額等	173,780
その他有価証券評価差額金	173,780
純資産合計	5,315,190
負債純資産合計	12,765,762

中間連結損益計算書 (単位：千円、千円未満切り捨て)

科 目	当中間連結会計期間 (自06年6月1日 至06年11月30日)
売上高	16,135,309
売上原価	13,848,937
売上総利益	2,286,371
販売費及び一般管理費	1,981,689
営業利益	304,682
営業外収益	35,774
営業外費用	1,274
経常利益	339,181
特別利益	818
特別損失	2,590
税金等調整前中間純利益	337,410
法人税、住民税及び事業税	142,066
法人税等調整額	15,065
中間純利益	180,278

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：千円、千円未満切り捨て)

科 目	当中間連結会計期間 (自06年6月1日 至06年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△478,492
投資活動によるキャッシュ・フロー	△115,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75,502
現金及び現金同等物の減少額	△669,495
現金及び現金同等物の期首残高	2,575,125
新規連結による現金及び現金同等物の増加額	69,333
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,974,963

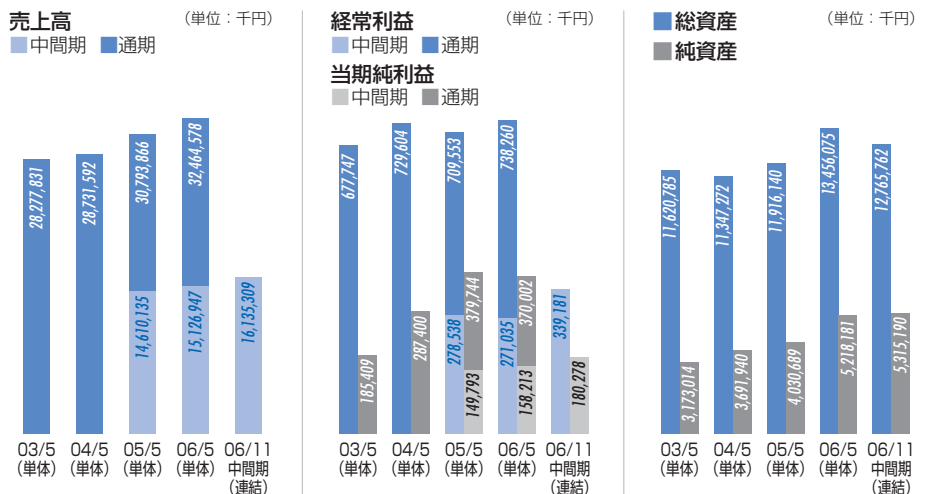
中間連結株主資本等変動計算書 (単位：千円、千円未満切り捨て)

当中間連結会計期間 (自06年6月1日 至06年11月30日)	株 主 資 本				評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
2006年5月31日残高	494,025	627,605	3,944,373	5,066,003	152,177	152,177	5,218,181
中間連結会計期間中の変動額							
剰余金の配当	—	—	△76,590	△76,590	—	—	△76,590
中間純利益	—	—	180,278	180,278	—	—	180,278
連結初年度に伴う剰余金減少額	—	—	△28,282	△28,282	—	—	△28,282
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	21,602	21,602	21,602
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	75,406	75,406	21,602	21,602	97,009
2006年11月30日残高	494,025	627,605	4,019,780	5,141,410	173,780	173,780	5,315,190

単体財務ハイライト (単位：千円)

<b>売上高</b>	
前中間期	15,126,947
当中間期	16,098,222
<b>営業利益</b>	
前中間期	253,109
当中間期	324,529
<b>経常利益</b>	
前中間期	271,035
当中間期	359,138
<b>中間純利益</b>	
前中間期	158,213
当中間期	200,312
<b>総資産</b>	
前中間期	11,743,864
当中間期	12,716,674
<b>純資産</b>	
前中間期	4,187,080
当中間期	5,363,506

Key Financial Data 主要経営指標



※単体の中間期につきましては、2005年5月期中間期より中間財務諸表を作成しているため、2003年5月期、2004年5月期につきましては記載しておりません。

会社の概況 (2006年11月30日現在)

会社名	山下医科器械株式会社 YAMASHITA MEDICAL INSTRUMENTS CO., LTD.
創業	1926(大正15)年8月
設立	1950(昭和25)年4月
資本金	4億9,402万5,000円
本店	〒857-8533 長崎県佐世保市湊町3番13号
福岡本社	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1丁目4番2号 エルガーラ7F
従業員数	442名(連結)

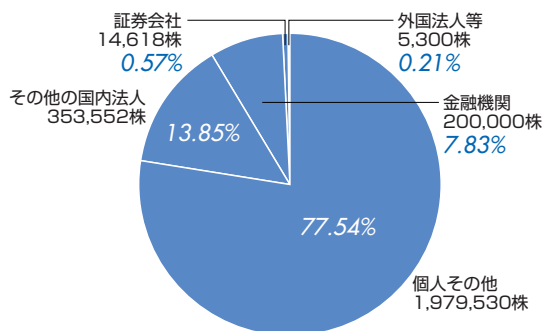
役員	代表取締役会長	山下 尚登
	代表取締役社長	山下 耕一
	常務取締役	嘉村 厚
	取締役	田尾 政秀
	取締役	吉本 晋治
	常勤監査役	石橋 政宏
	監査役	中田 和重
	監査役	山下 俊夫

連結子会社 株式会社イーピーメディック

株式の状況 (2006年11月30日現在)

発行可能株式総数	8,000,000株
発行済株式の総数	2,553,000株
株主数	2,213名
大株主(上位10名)	
	株主名 持株数(株) 持株比率(%)
	山下 尚登 468,000 18.331
	山下 耕一 294,256 11.525
	山下医科器械社員持株会 273,832 10.725
	株式会社ミック 222,952 8.732
	山下 弘高 80,000 3.133
	オリンパスメディカルシステムズ株式会社 60,000 2.350
	株式会社親和銀行 48,000 1.880
	山下 浩 43,048 1.686
	日本生命保険相互会社 40,000 1.566
	西九州信用金庫 33,500 1.312

株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	毎年8月
基準日	定時株主総会 毎年5月31日 期末配当金 毎年5月31日 中間配当金 毎年11月30日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(連絡先)	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-288-324 (フリーダイヤル)
取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
公告方法	電子公告の方法により行います。 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス <a href="http://www.yamashitaika.co.jp">http://www.yamashitaika.co.jp</a>
単元株式数	100株